

「入試算数」の基礎を身につけるため、小学校内容を先取りして学習します。

中学受験をするにあたり、算数は小学校で学習する内容よりもさらに多くのことを身につけねばなりません。Z会中学受験コース3年生算数では、入試算数の基礎として、主に「整数の四則演算」「平面図形」を学校の授業よりも先取りして学習します。

学校で未習の内容でも自宅で安心して取り組める教材、さらに「少し難しいけれど、算数っておもしろい!」と算数の世界へ興味・関心を深められる教材となっており、後の算数・数学学習へのモチベーションにもつながります。

学習例：◎学校で習っていないことがらも、自宅でスムーズに習得。

●映像や授業ノートで解法の流れをつかむ

算数の要点は、ただ解説を読むだけでは重要ポイントを見逃しがちです。「授業ノート」を使って文中の穴埋めや筆算を行うことで、手を動かし、考えながら内容を読むことができます。「筆算はどのような順序で書いていくの?」といったお子さまの疑問に対しては、講師による映像授業をご用意しています。説明を読むだけでは解法の流れがつかみにくい場合など、講師と一緒に取り組み、講師の話を聞きながら進めることで、よりスムーズに内容を理解することができます。

要点

れい題1 右の筆算をしなさい。

$$\begin{array}{r} 64 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$$

▶ 先生の授業を見る

📖 自分で要点を読む

考え方

64 × 2 の筆算は次のようにします。

① 2 × 4 = 8 なので、一の位に 8 を書きます。

② 2 × 6 = 12 なので、百の位に 1、十の位に 2 を書きます。

筆算

$$\begin{array}{r} 64 \\ \times 2 \\ \hline 128 \end{array}$$

2けた×1けたの筆算は、1行で答えをもとめるように書いてね。

映像授業 + **授業ノート**

●例題→確認問題→練習問題の3ステップ

小学3年生の算数はとくに、学校での各単元の学習時期が教科書によって大きく異なります。かけ算の筆算を習い始めるのも、5月～10月頃とばらけがち。Z会では、学校での学習時期がいつ頃であっても初見から学習できるように、「丁寧に解き方を解説する例題」「例題の類題を自力で解けるようにする確認問題」「例題～応用レベルまで扱う練習問題」の3ステップに分けて単元の各回を学習します。

要点

れい題1 右の筆算をしなさい。

$$\begin{array}{r} 64 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$$

確認問題

1 次の計算をしなさい。

(1) 34×2 (2) 13×3

×		

×		

(3) の十の位のかけ算は、 8×2 だね。答えの16は百の位に1、十の位に6を書きよ。

練習問題

2 次の問いに答えなさい。

(1) ただしさんは、1日に16ページずつ本を読みます。7日間で何ページ読みますか。

式

4 今、子は9才です。今から5年後に、母の年れいは子の年れいの3倍になります。このとき、次の問いに答えなさい。

(1) 今から5年後、子の年れいは何才になりますか。

(2) 母の今の年れいは、何才ですか。

●無理なく難問に触れるカリキュラム

中学受験コース3年生では、計算の基礎「整数の四則混合」、視覚的に理解しやすい「平面図形」を学習します。その他「方陣算」「植木算」など、入試でも出題される特殊な考え方の問題についても、お子さまの負担が少なくなるよう、学習する月を分散させて取り組みます。

●途中から中学受験コースを始められる方のために、既習内容対策教材をご用意

今回の見本ではかけ算の筆算を学習していますが、算数は「この植木算を解くためにはかけ算の筆算が必要になる」といったように、前月までに学習したことを利用して、新たな単元を学習することがたいへん多い教科です。

中学受験コース3年生を4月号以外から始めていただく場合、算数はとくに計算方法を自習で身につけるのが難しいため、アプリ内に「算数追いつき教材」をご用意しています。また、計算方法を含め、中学受験コース3・4年生で学習する内容をまとめた書籍『入試算数の基礎30』もございます。これらで未習内容を補完しながらご受講ください。